※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「新地理総合」（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校社会科地理的分野の学習内容を土台に、教科書や地図帳を使用し、地理的な見方・考え方を育成し、働かせる学習を行います。
世の中で起こっている事象を地理の学習を通して理解していきましょう。

2　学習の到達目標

（１）地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
（２）地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
（３）地理に関わる諸事象に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本に生きる人間としての自覚、日本の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解できているか。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けられているか。	地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が付いているか。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度があるか。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される公民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さなどについての自覚を深められているか。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部　地図でとらえる現代世界	1　地球上の位置と私たちの生活 2　時差と私たちの生活 3　地球儀と地図 4　身の回りの地図 5　統計地図の種類と利用 6　地理情報システム(GIS)の利用 7　現代世界の国家 8　日本の位置や領域 9　国家間の結び付き 10　貿易によって結び付く世界 11　さまざまな交通網の発達 12　世界を結ぶ通信網の発達 13　観光のグローバル化	a：日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 b：地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期テスト	小テスト 定期テスト	振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

	第2部　国際理解と国際協力	1　生活文化を考察する方法 2　大地形と人々の生活 3　変動帯と人々の生活 4　安定地域と人々の生活 5　河川がつくる地形と人々の生活 6　海岸の地形と人々の生活 7　氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 8　気温・降水と人々の生活 9　大気大循環と人々の生活 10　世界の植生と気候区分 11　熱帯の生活 12　乾燥帯の生活 13　温帯の生活 14　亜寒帯・寒帯の生活	a：世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問	小テスト 定期テスト	小テスト 定期テスト	振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

２学期	第2部　国際理解と国際協力	15 モンスーンの影響を受ける地域での生活 –東南アジア– 16 イスラームと人々の生活の関わり　－中央アジア・西アジア・北アフリカ– 17 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり –サハラ以南アフリカ– 18 地域統合が人々の生活や産業に与える影響 –ヨーロッパ– 19 多様な地球環境問題 20 熱帯林の破壊への対策 21 地球温暖化への対策 22 世界のエネルギー・鉱産資源 23 エネルギー利用の現状と課題 24 地域で異なるエネルギー問題への取り組み 25 世界の人口 26 発展途上国と先進国の人口問題 27 地域で異なる人口問題への取り組み 28 飢餓と飽食 29 地域で異なる食料問題への取り組み 30 世界の都市の発展 31 発展途上国と先進国の都市・居住問題 32 地域で異なる都市・居住問題への取り組み	題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b：世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期テスト	小テスト 定期テスト	振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

３学期	第3部　持続可能な地域づくりと私たち	1　地震・津波による災害 2　地震・津波の被災地の取り組み 3　火山の恵みと災害 4　火山と共生する地域の取り組み 5　さまざまな気象災害 6　気象災害への取り組み 7　減災の取り組み 8　被災地への支援	a：我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b：地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期テスト	小テスト 定期テスト	振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度